



学校だより

郡山市立海老根小学校
第15号
令和7年9月3日(水)
文責:校長 宗像善吉



陸上交歓会・マラソン大会に向けて

先週お知らせしましたように、9月1日から10月に行われる陸上交歓会、11月に行われる校内マラソン大会に向けた取り組みが行われています。業間時には、個々に目標とする周回を決めて3分間走を行い、走力の向上に努めます。毎日走った距離を累積して記録に残しながら、子どもたちの頑張りを見える化し、子どもたちの意欲を高めていきたいと考えています。

まだまだ残暑が厳しい時期ですが、子どもたちの体調を見ながら無理のない範囲で取り組んでいきますので、ご家庭で様子を見て取り組むことが難しい日には、連絡帳などで担任や学校へご連絡いただければ幸いです。また、水分補給も必要になりますので、水筒などを持たせていただければ幸いです。



ランタンづくり

8月26日
(火)に海老根和紙保存



会の熊田一成さんと根本京子さんを講師にお迎えして、海老根和紙で作ったランタンに絵付けを行いました。当初は、楮の下草刈りなど行う予定でしたが、今

年の猛暑のため、楮が予想よりも成長したため、子どもたちがその中に入って作業するのは大変難しいということで内容を変えて行いました。

2学期が始まったばかりで、事前にどんな絵付けをしたらよいか考える時間もなかったのですが、1時間以内で描き上げられるか心配しましたが、そこは、柔軟な発想を持つ子どもたちです。しばらく考えていると、思い思いの絵柄を上手に描き上げていました。この作品は、9月13日(土)に開催される「秋螢」で飾られ、会場を彩ります。



祖父母・保護者ふれあい参観

9月5日(金)は祖父母参観・保護者ふれあい参観日になっています。今年度も「秋螢」に出品する灯籠の絵付けを行います。子どもの思いを生かしつつ、自分らしさの出る作品になるようおうちの方からアドバイスをいただき、作品を仕上げていただければ幸いです。

また、先週マチコミメールでお知らせしたように、当日のふれあい参観の様子を福島中央テレビが取材に来ることになりましたので、お知らせいたします。



さらに、ふれあい参観後には、引き渡し訓練も予定されております。災害等が起きて引き渡しをしなくてはならない状況にならないように願うばかりですが、万が一の場合に備えて実施します。ふれあい参観後は一度校舎外に出ただいて、改めて子どもたちを引き受けていただくようお願いいたします。

デジタル新聞を読んで

夏休み中に、デジタル新聞を読んだ感想を子どもたちに募集しました。取り組んだ児童が目にとめた記事の見出しとその感想を学校だよりで紹介します。子どもたちが興味を持ったこと、その記事を目のあたりにして何をどう感じたかなど、私たち大人にとってもとても興味深いことです。是非、目を通していただき、一声かけてください。



なお、デジタル新聞は、児童が持ち帰っているタブレットで毎日、無料(料金は郡山市で負担)で見ることができます。おうちの方もどんなものか一度ご覧いただければ幸いです。漢字にルビが振ってあるので、子どもたちにとって難しい漢字も読んだり意味を考えたりすることができます。疑問に思ったことは、さらに深く調べたりすることもできます。

「奈良 国宝・正倉院 か弱い虫の楽園」

正倉院事務所保存科学室の高畑誠さんは、大学院から文化財と虫の研究をしてきたこの道のプロだそうです。僕は最初、正倉院に罌を仕掛けて捕まえたチャタテムシとかが悪いことをしているのかなと思いました。記事を読んで見ると、高畑さんはチャタテムシは、主にカビを食べてくれると分かったと書いてあったので、チャタテムシは、悪いことをしているのではなく、よいことをしているんだなと思いました。

「ピカピカ 戻ってきた“相棒”」

2024年9月の能登豪雨で泥だらけになったランドセルが、ピカピカに磨かれてメッセージとともに戻ってきました。

自分がもし震災で被災したらいろんなものが消えるから、ランドセルとかも大切だと思い返されました。そして、物を大切にしたいです。

最後にいつ被災するか分からないから気を付けて生活したいと思いました。

